

目標達成までのロードマップ（たたき台）について

ごみ排出状況の推計から、目標達成までのロードマップを想定しました。

なお、これは、令和4年度のごみ排出量と、令和5年度の可燃ごみ組成分析結果、環境省試算方法を用いた推計であり、今後のごみ排出量や組成分析結果により、数値は変動します。

また、環境省試算方法は、品目ごとに固有水分量を指定するため、生ごみの水切りなど水分量の変化があっても、推計に上手く反映することができません。

そのため、一定の限界がある推計として用いることとなります。

1 「1人1日あたりの生活系ごみ排出量（資源化量除く）」

【目標値 480 グラム】

燃やせるごみに含まれる資源物のリサイクル（再資源化）と、生ごみや剪定枝のリデュース（減量化：堆肥化・乾燥化・消滅化）を、合計35%以上することで、目標を達成することができます。

目標値	R4 実績値	達成まで必要な削減量
480 グラム	643 グラム	▲163 グラム



35%以上の実施率で達成可能

削減可能量（1人1日あたり）					
再資源化	古紙	古着	プラスチック 製容器包装	小計	▲474g
	▲69g	▲18g	▲45g	▲132g	
減量化	生ごみ	剪定枝・刈草	計		▲342g
	▲316g	▲26g	▲342g		

2 「1人1日あたりの事業系ごみ排出量（資源化量除く）」

【目標値 200 グラム】

燃やせるごみに含まれる生ごみや古紙の53%以上をリサイクル（再資源化）することで、目標を達成することができます。

目標値	R4 実績値	達成まで必要な削減量
200 グラム	312 グラム	▲112 グラム



53%以上の実施率で達成可能

削減可能量（1人1日あたり）		
生ごみ	古紙	計
▲135 グラム	▲79 グラム	▲214 グラム

3 「1人1日あたりのごみ排出量」

【目標値 970 グラム】

燃やせるごみに含まれる生活系の生ごみや剪定枝・刈草のリデュース（減量化：堆肥化・乾燥化・消滅化）を76%以上行うことで、目標を達成することができます。

目標値	R4 実績値	達成まで必要な削減量
970 グラム	1,229 グラム	▲259 グラム



76%以上の実施率で達成可能

削減可能量（1人1日あたり）		
生活系	事業系	計
▲342 グラム	なし	▲342 グラム

4 「1日あたり燃やせるごみ排出量」

【目標値 82.1 トン】

燃やせるごみに含まれる生活系の生ごみや剪定枝・刈草のリデュース（堆肥化・乾燥化・消滅化）と資源物のリサイクル（再資源化）、事業系の生ごみや古紙のリサイクル（再資源化）を、合計29%以上行うことで、目標を達成することができます。

目標値	R4 実績値	達成まで必要な削減量
82.1 トン	104.2 トン	▲22.1 トン



29%以上の実施率で達成可能

削減可能量（1日あたり）						
区分	取組	品目	重量	小計	計	合計
生活系	再資源化	古紙	▲7.9t	▲15.1t	▲54.2t	▲78.6t
		古着	▲2.1t			
		プラスチック製容器包装	▲5.1t			
	減量化	生ごみ	▲36.2t	▲39.1t		
		剪定枝・刈草	▲2.9t			
事業系	再資源化	古紙	▲9.0t	▲24.5t	▲24.5t	
		生ごみ	▲15.5t			